

公益社団法人 東京都臨床検査技師会令和3年度第5回理事会議事録

日時：令和3年9月15日（水）19時00分～20時45分

場所：都臨技事務所 オンラインWeb会議システム（Zoomミーティング）

議長：原田

議事録作成：竹澤

出席：

（都臨技事務所にて参加）2名

飛知和、高橋監事

以下の出席者は、Web会議システム「Zoomミーティング」により参加した。

（自宅より参加）13名

原田、杉岡、小山、中村、山方、米山、三橋、星野、相馬、竹澤、末永、岩瀬、立花監事

（職場から参加）10名

浄土：勤務先 東京都千代田区神田駿河台1-6 日本大学病院 臨床検査部

宮崎：勤務先 東京都渋谷区神宮前4-3-6 伊藤病院 臨床検査室

櫻井：勤務先 東京都小平市花小金井8丁目1-1 公立昭和病院 臨床検査科

松村：勤務先 東京都板橋区加賀2-11-1 帝京大学 医療技術学部

加藤：勤務先 東京都多摩市永山1-7-1 日本医科大学病院多摩永山病院 中央検査室

浅野：勤務先 東京都荒川区西尾久2丁目1-10 東京女子医科大学東医療センター 検査科

平木：勤務先 東京都新宿区河田町8-1 東京女子医科大学病院 中央検査部

府川：勤務先 東京都港区虎ノ門2丁目2番2号 国家公務員共済組合連合会虎の門病院 中央検査部

遠藤監事：勤務先 東京都千代田区神田神保町1-48 税理士法人 MYユニット

関口（役員選出委員）：勤務先 東京都三鷹市新川6-20-2 杏林大学医学部付属病院 臨床検査部

計25名

議事の経過の要領およびその結果

定刻、東京都臨床検査技師会会長 原田典明は議長席につき、Web会議システムにより、出席者の音声は即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認の後、理事会の開会を宣し、以下の議事に入った。

1. 議事録確認

- ・令和3年度第4回理事会議事録が承認された。
- ・令和3年度第5回、第6回執行理事会議事録が承認された。

2. 報告事項

1) 学術部

(1) 学術部会

- ・第4回学術部会が7月26日に開催された。
- ・研修会参加招待メールが届いていないという問い合わせが数件あり対応した。
- ・初級研修会はWeb開催となっているが、来年度も支部業務として行うのか、学術業務とするのか理事会での検討を要望する。
- ・遺伝子染色体検査研究班から幹事1名の推薦が上がった。
- ・臨床化学検査研究班から積水メディカル株式会社との共催許可願い書が提出された。
- ・著作権について、ホームページや研修会スライドに掲載するスライド資料を作成した。
- ・非会員や他県会員が研修会に参加できるかの問い合わせが多くあるため、回答を作成した。非会員は参加費1,000円をクレジット払いで支払うシステムが利用可能であるが、他県会員の対応を検討する必要がある。研修会は都臨技会員に向けて行う事業であり、都臨技の会員になってもらうよう促していく。

(2) 編集委員会

- ・第2回編集委員会が7月15日、第3回編集委員会が8月26日に開催された。
- ・10月号に印刷準備が完了した。同梱資料も準備が出来たので予定通り発送が可能である。
- ・来年度のシリーズテーマは「タスクシフティング」について取り上げる案が出ている。
- ・会誌の電子化について検討を開始する。印刷物は廃止しないので両者で見やすいレイアウトなど考える。
- ・来年度の会誌カラー、デザインは11月の委員会で検討をする。

(3) 標準化委員会

- ・第2回標準化委員会が8月30日に開催された。
- ・2020年度精度管理調査報告会は9月16日から10月21日までに事前参加登録をしてもらい、ホームページ上に掲載する音声付き資料を10月1日から10月22日までの間に閲覧してもらう。閲覧後、問題に解答し8割以上の正解者に生涯教育点数を付与する。
- ・2021年度精度管理調査の申し込み期間は終了した。試料は10月19日に日通川口支店にて試料梱包作業をして発送する。
- ・荒木委員長の定年退職に伴い、次期委員長の選出が委員会の中で決まらず理事会でも考えて欲しいとの要望があった。
- ・今後の試料は市販の試料を使用していく。甲状腺ホルモンを項目に追加する案が出ている。

(4) 生涯教育制度実行委員会

- ・7月分、8月分について学術研究班の研修会は6分野、初級研修会は5分野の開催があり、それぞれ100名から200名前後の参加があった。
- ・自己申告の登録を行った。

2) 学会運営部

(1) 第16回東京都医学検査学会

- ・ポスター・チラシの印刷依頼を、会誌に同梱するチラシ7,000部はすでに納品された。650施設に配布するポスターは9月17日に納品予定となっている。
- ・各団体への後援依頼について書面を作成中。
- ・演題の登録を開始しているので、学術を中心に参加依頼をお願いする。登録期間は9月1日から11月30日となっている。

(2) 第17回東京都医学検査学会

- ・準備を進めている。

3) 支部運営

(1) 支部報告

- ・初級研修会は滞りなく開催されている。今後は9月22日に輸血、9月24日に免疫血清が開催され今年度は終了となる。
- ・来年度の開催形式、担当について審議する。
- ・各区民まつりは中止になっているが、西支部の小平市民まつり、東支部の江戸川区民まつりはホームページで出展団体の活動PRを行いたいと依頼があり対応している。小平市民まつりには日臨技ホームページに掲載してある動画を使用する予定となっている。江戸川区民まつりは、文章での掲載のみになるのでフォーマットに記載して提出予定。

(2) 選挙管理委員会

- ・代議員選挙の公示を9月1日に行った。
- ・立候補届出期間は9月1日から11月30日で都臨技事務所に支部長宛てで届けられることになっている。
- ・10月号の会誌に「会告」として掲載される。

4) 地域保健共催事業部

(1) 地域保健共催部会

- ・看護フェスタが令和3年12月1日～12月31日にWeb開催予定。都臨技からは「リアルタイムPCR検査法の原理」、「院内での迅速PCR検査の実際」「臨床検査技師の仕事とは」の3コンテンツにて参加予定で、内容の確認を行っている。

(2) STI 予防委員会

- ・7月13日に日大豊山女子、7月28日に東京工科大学でSTI教室が開催された。
- ・今後は9月28日に東京電子専門学校、11月12日に新渡戸文化短期大学で開催予定、青砥中学は学校行事の都合で中止の可能性がある。
- ・今後、アンケートを取る際にGoogleフォームを利用していくため、Googleアカウントを取得する方向で動いている。アンケート入力は学生個人にゆだねることになるので、問題点を検討していく。また、アンケート回答内容に即して内容を追加修正するなどしていく。
- ・今年度のエイズフェスと街頭活動は実施されるかの確認がまだとれていない。街頭活動が実施される場合は数年前に作製したウェットティッシュを配布する予定だが、在庫数および配布物の中身を確認する。
- ・STI 予防教室の開催校を増やすため、東京都学校保健研究会にチラシを配布し普及活動をしていくことになった。また保護者に対しても臨床検査技師の紹介チラシを今年度委員会で作成し、来年度に配布予定。

(3) フォーラム委員会

- ・第16回東京都医学検査学会での都民公開講座の参加を検討していたが、不参加とした。
- ・委員会内で企画担当、広報担当、ホームページ担当の割り振りを決定した。企画は来年度以降の内容を企画、広報は10月以降ホームページにコンテンツを上げていく予定だが、それに対しどのように広報していくか検討中。ホームページ担当はコンテンツの管理を行う。
- ・今後、生涯教育点数付与に関し検討をする。

(4) 学生対象講演会

- ・今年度の東京都医学検査学会内で開催する準備が進んでいる。内容は「臨地実習について」を検体検査担当1名、生理機能検査1名、新人技師2名の計4名の講師に依頼する。

(5) 教育施設連絡者会議

- ・9月10日に開催された。
- ・臨地実習をテーマに開催される学生対象講演会への参加協力を依頼した。
- ・新カリキュラムに関して情報共有がなされたが、今後も話し合いを継続していく。
- ・技師会活動について説明をした。

5) 会計部

- ・2021年7月と8月の収支会計方向がなされた。

6) 庶務部

(1) 庶務部報告

- ・令和3年度会費未納である賛助会員5社へ声掛けを行っていく。
- ・日本ベクトンディッキンソン株式会社から賛助会員へ加入申請があり審議項目とされた。
- ・新入会会員が報告され審議項目とされた。
- ・行事予定は9月22日までに都臨技事務所へ連絡する。

(2) 役員候補者選出委員

- ・公示文書及び推薦状を会誌に掲載する。期限は11月30日まで。

7) 事務局

- ・7月、8月の事務局報告書の確認がなされた
- ・輸血療法研究会開催に係わる後援名義申請があり、例年通り承認で返信済み。
- ・10月2日に市ヶ谷法曹ビル全体の害虫駆除が行われる。

8) 表彰選考委員会

- ・9月開催は無し。次回は10月に開催。
- ・各賞の表彰対象者に関しては學術の協力のもと推薦をあげていく。

9) 副会長報告

- ・タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会は8月29日が中止になり、今後の開催は日程が未定。首都圏支部で実施になるか、東京都単独で開催するか検討する。
- ・LINE登録者数は900名を超え、学会等の情報発信を行っている。今後もチラシ等で広報し登録者を増やしていく。
- ・ホームページに会員専用ページを開設し、研修会コンテンツなどを掲載していく。

10) その他

- ・日本臨床検査技師連盟から連盟組織力強化、きめ細やかな情報の伝達のため、各都道府県支部における区割りの構築について依頼があった。都臨技は松村執行理事を統括、原田会長、三橋執行理事を副統括とし、各支部長を加え支部割りをすることになった。
- ・10月の臨地実習指導者講習会・世話人講習会に東京都から理事4名が参加する。今後の講習会は当面Web講習会で実施されるが今回参加の4名がファシリテーターとして参加する。
- ・医療従事者ネットワークの会合が開催予定。

3. 審議事項

- 1) 遺伝子染色体検査研究班から幹事1名の推薦書が提出され審議の結果、承認された。
- 2) 臨床化学検査研究班から積水メディカル株式会社との共催許可願い書が提出され、承認された。
- 3) 著作権についての注意事項と研修会受講料についてのアナウンススライドを作成し内容について確認された。
- 4) 非会員の研修会参加費に関しては規定で決まっていることであり今年度は変更不可。変更する際には総会審議が必要。
- 5) 来年度の初級研修会はWeb開催とし、担当は學術主体に実施していくことが理事会の意見として決められた。今後対面で開催することになった場合にはまた検討をしていくが、初級研修会は会員が参加しやすいよう各支部で同じ内容を講演するように企画していたので、Web開催であれば利便性の確保は可能である。初級研修会テキストは次年度も作成し配布するが、実際の運用に関しては學術部内で検討してもらう。
- 6) 新入会会員78名の入会（再入会7名を含む）が審議の結果、承認された。
- 7) 学生会員5名の入会が審議の結果、承認された。
- 8) 日本ベクトンディッキンソン株式会社から賛助会員への加入申請があり、審議の結果、承認された。
- 9) 初級研修会テキストの在庫が17部となり増刷が必要となるが、見積もりを検討し、200部の増刷とした。

以上をもって本理事会の審議を終了したので、議長は閉会を宣言し20時45分に解散した。本日のWeb会議システムを併用した理事会は、終始以上なく審議を終了した。上記の議題及び決議内容を明確にするため、この議事録を作成し議長と監事は次に署名捺印する。

議長
(原田)

原田典明



監事
(立花)

立花勇一



監事
(高橋)

高橋秀治



監事
(遠藤)

遠藤盛人

